

NRIs Main Session: 2025 年以降のマルチ ステークホルダー型デジタルガバナンス

IGF 2025 - Day 3 - 本会議場

Thursday June 26, 2025 15:45 - 17:00 CEST

インターネット・ガバナンスにおけるマルチステークホルダー・アプローチの強化

長年にわたり、マルチステークホルダー・アプローチは、特に国連の文脈において、インターネット・ガバナンスの中心的な要素でした。情報社会世界サミット(W SIS)プロセスから 20 年、持続可能な開発のための 2030 アジェンダから 10 年以上が経過し、世界は大きな成果を上げてきましたが、ジェンダーに基づく格差を含む憂慮すべきデジタルデバイドは依然として存在しています。

現在の取り組みと課題

国際社会は最近、NETmundial+10 で合意されたサンパウロ・マルチステークホルダー・ガイドライン、グローバル・デジタル・コンパクト (GDC) の採択、進行中の WSIS+20 協議プロセスといった取り組みを通じて、これらの課題を振り返ってきました。これらの振り返りは、包括的かつ透明性のあるガバナンスメカニズムを強化することの緊急性を強調しています。

セッションの目的と焦点

このセッションでは、インターネットおよびデジタル・ガバナンスにおけるマルチステークホルダー・アプローチの機能について評価し、進化する技術的および社会的変化の中でそれを強化するための戦略を探求します。176 以上の国、地域、およびユース IGF (NRI) に所属する専門家からのエビデンスに基づいた洞察を活用し、包括性、オープン性、透明性といった中核原則を再確認するとともに、マルチステークホルダー・アプローチの成功と限界を検証します。

特に、以下を含むグローバルなデジタル協力を強化するための具体的な提案の特定に重点が置

かれます。

- ウェブプロトコルの進化や新しい**新興技術**といった技術開発にガバナンス構造を適応させること。
- 現在 54 億人がオンラインになっている中で、**持続可能な開発目標(SDGs)**に沿った**包括的なデジタル未来**を構築するために、**マルチステークホルダー**の連携を強化すること。
- 地域の**マルチステークホルダー・コミュニティ**の具体的な影響を強調し、あらゆるレベルで**マルチステークホルダー・プロセス**への積極的な参加を確保するために、**政策立案者、立法者、規制当局**をより効果的に巻き込む方法を探ること。

政策に関する主要な問いかけ

セッションで取り上げられる可能性のある政策に関する主要な問いかけの例を挙げます。

- **WSIS+20** レビューや**グローバル・デジタル・コンパクト**のような国連主導のプロセス内で、**マルチステークホルダー・アプローチ**をどのように強化すれば、より**包括的、透明性、効果的なデジタル・ガバナンス**が保証されるか。
- 学術界、政府、規制当局、市民社会、技術コミュニティ、民間セクターの**グローバルなデジタル協力フレームワーク**への参加を強化するために、どのような**具体的な措置**がとれるか。
- **NETmundial+10** で合意された**サンパウロ・マルチステークホルダー・ガイドライン**を、国、地域、および**グローバルレベル**のガバナンス構造を改善するために、実際にどのように適用できるか。
- 進化するウェブプロトコルや**AI**などの**デジタル公共政策プロセス**や**新技術**の文脈において、**マルチステークホルダー・アプローチ**はどのように適応すれば、関連性と有効性を維持し、**デジタル・ガバナンス**が**人間中心**であり続けるか。
- 国、準地域、地域、およびユース****IGF (NRI)** **の経験から、**マルチステークホルダー・ガバナンス**の具体的な利点と影響はどのような教訓を示しており、これらを**グローバルに拡大・複製**する方法は何か。

このセッションは、デジタル時代における**マルチステークホルダー・ガバナンス**の継続的な進化と重要性を強調し、**包括的で持続可能なデジタル未来**を実現するための具体的なステップを特定することを目指しています。

登壇者

- Ms. Nithati Moorosi, Minister, Ministry of Information, Science, Technology and Innovation, Lesotho | Lesotho IGF
- Mr. Declan McDermott, Internet Policy & Regulatory Affairs Manager, .ie, Ireland | Ireland IG
- Ms. Agustina Ordoñez, Chief of Advisors to a Deputy in the National Congress in Argentina and Coordinator of the Gender and Public Policy Forum at Yale University, Argentina | Argentina IG
- Ms. Joyce Chen, Senior Advisor-Strategic Relations, APNIC, Australia/Singapore | APriIGF
- Mr. Byron Holland, President and CEO, Cira, Canada | Canada IGF
- Ms. Sarai Faleupolu Tevita, Chief Operating Officer, National University of Samoa, Samoa | Pacific IGF
- Mr. Ahmed Farag, National Telecom Regulatory Authority, Egypt | North African IGF, Arab IGF

現地モデレーター: Ms. Christine Arida, Strategic Advisor to the Executive President and Board Member at the National Telecom Regulatory Authority of Egypt | North Africa IGF, Arab IGF

オンラインモデレーター: Ms. Lily Edinam Botsyoe, Ghana Youth IGF

報告者: Mr. Sameer Gahlot, Southeast Asian Youth IGF; Ms. Martha Negedu, Nigeria IGF; Mr. Ernest Mafuta, Zambia IGF

成果: Messages from the NRIs

サマリー

このセッションは、インターネット・ガバナンスにおけるマルチステークホルダー・アプローチの現状と未来に焦点を当てました。世界情報社会サミット (WSIS) プロセスから 20 年、持続可能な開発目標 (SDGs) のための 2030 アジェンダのデジタル時代に突入する中で、デジタル格差、特にジェンダーに基づく格差が依然として課題として残っています。次いで、NRIs (国・地域・ユース IGF) の持続可能性、言語的多様性の包含、若者の有意義な参加、そしてデジタル・ガバナンス・フォーラムへの名称変更の提案が議論されました。

主要な議論と提言

1. マルチステークホルダー・アプローチの再確認と再考

- 包括的で透明性があり、強靱なデジタルな未来を確保するために、このアプローチを再確認し、急速に進化する世界に合わせて再考する必要があります。
- **WSIS+20** レビューやグローバル・デジタル・コンパクト(GDC)のような国連主導のプロセスにおいて、非政府関係者（学術界、民間セクターなど）が有意義かつ継続的に貢献できるよう、プロセスの透明性、理解しやすさ、実行可能性、アクセシビリティを確保することが重要です。
- 意思決定者は、**NRI** からの草の根レベルのインサイトを政策に反映させるべきです。

2. NRIs（国・地域・ユース IGF）の重要性

- 176 以上の **NRI** が、多様なデジタルの現実に基づいて、この議論に声と経験を提供しています。
- **NRI** は、地域のマルチステークホルダー・コミュニティの強みと、グローバルな政策を形成し、影響を与える能力を実証しています。
- **NRI** は、地域レベルでの声を増幅させ、グローバルレベルに届ける上で極めて重要です。

3. 具体的な提案と課題

- UN プロセスにおける強化: WSIS+20 レビューの成果文書は、マルチステークホルダー型インターネット・ガバナンスを明確に支持すべきです。また、グローバル IGF の長期的なマンデートと制度的資源の強化が必要です。
- 信頼と自信の構築: プロセスにおける言葉遣いの問題（例：GDC の初期草案で技術コミュニティへの言及がなかったこと）は、信頼を損なう可能性があります。透明性の確保と強いフィードバックループが重要です。
- 政府の役割: 政府は単にマルチステークホルダー・フォーラムに参加するだけでなく、市民社会、学術界、技術コミュニティ、民間セクターのインプットが真の影響力を持つよう、積極的に支援し、保護すべきです。レソトの事例のように、政府はマルチステークホルダー・ガバナンスを国内で実践し、国際的に提唱すべきです。
- **NRI** の教訓: **NRI** の経験から、すべてのステークホルダーグループがプロセスに参加することに強い意欲を持っていることが示されています。IGF の招集力は高く、参加者は有意義な議論から新しい視点を得ています。
- スケーリング戦略: **NRI** の成功をグローバルに拡大するためには、「スケーリング・ア

ウト」(リーチの拡大、新しい地域でのモデルの複製)、「スケーリング・アップ」(政策立案への影響力の増大、地域での声をグローバルに増幅)、「スケーリング・ディープリー」(文化変革の促進、マルチステークホルダー主義のような原則の推進)という3つのアプローチが考えられます。

- ユースの包含: 若者はマルチステークホルダー・ガバナンスの中心に位置付けられるべきです。ブラジルのサマースクールや奨学金プログラムのように、若者の参加を促進する具体的な取り組みが必要です。
- 参加の障壁の克服: 言語、リソース、資金だけでなく、過去の議論の「荷物」が新規参加者にとって障壁となることがあります。歴史の背景説明を効果的に行う「ストーリーテリング」を通じて、参加を促進する必要があります。
- SIDS(小島嶼開発途上国)の視点: SIDS にとって、マルチステークホルダー・ガバナンスは「必要不可欠」です。限られた資源、気候変動への脆弱性、地理的孤立といった課題を克服し、レジリエントな解決策を共同で設計するために、マルチステークホルダー・アプローチが不可欠です。接続性のアクセシビリティと手頃な価格、気候変動に対応したデジタルインフラの促進、地域の能力開発が重要です。
- 新技術への適応: デジタル公共政策や AI などの新技術の進化において、マルチステークホルダー・アプローチは、関連性と有効性を保ち、人間中心のデジタル・ガバナンスを維持するために適応する必要があります。表面的な協議ではなく、深い協議が求められます。

4. NRIs の持続可能性と資金調達

- タンザニア IGF は、NRI の将来的な持続可能性を確保するためにトラストファンドを設立することを提案しました。NRI は政策変更や新法制定の推進において重要な役割を果たすため、その持続可能性は地域および国家にとって極めて重要です。
- IGF サポート協会(IGF SA)は、発展途上国の NRI への資金提供を継続しています。しかし、NRI は IGF SA とは別に、より長期的な持続可能性を考慮すべきです。
- ナイジェリアの例では、政府機関やドメイン管理者などのマルチステークホルダーが資金提供に協力することで、NRI の持続可能性を確保しています。政府と議員の**理解と参加**を得ることが重要です。

5. 言語的・文化的多様性の包含

- グローバルサウスを含む多様な言語、文化、地域からの参加を **WSIS+20 レビュー**や

GDC のようなグローバルな枠組みに有意義に包含することが課題です。

- アラブ地域の例では、英語、フランス語、アラビア語の**同時通訳サービス**を提供するために、**財源**が不可欠であることが強調されました。コンテンツを現地の言語で利用できるようにすることも重要です。
- 異なる言語間の**定義や概念の相違**が誤解を生む可能性があるため、正確な通訳と、言語に伴う文化的、社会的、歴史的背景の理解が求められます。
- **IGF** のすべてのセッションやワークショップでの通訳サービスの提供は財政的な課題ですが、大使館との協力など、**協力的な解決策**を模索すべきです。

6. 若者の有意義な参加

- 長年議論されてきた若者の「**形式的な参加**」ではなく、より「**積極的な参加**」を促進すべきです。
- 若者は**デジタル・ガバナンス**の未来を形作る能力とリーダーシップを持っているため、財政的な支援だけでなく、**能力開発やメンターシップ**を通じて、彼らの活動を継続的に支援する必要があります。

7. IGF の名称変更の提案

- ベナンの参加者から、**IGF** の名称を「**デジタル・ガバナンス・フォーラム**」にリブランディングする提案がありました。これは、インターネットだけでなく、より広範な**デジタル関連の課題**（政策を含む）を議論している現状を反映するためです。

8. IGF と NRI の連携、そして成功事例

- コロンビア IGF は 11 年の経験を持ち、対話のための**恒久的かつ中立な空間**を提供し、若者の参加を促進し、政策や規制イニシアチブに貢献しています。
- ケニア IGF も 18 年の歴史を持ち、**マルチステークホルダー**の関与を通じて政策課題について対話を行い、**ケニア・インターネット・ガバナンス・スクール**を通じて若者、女性、疎外されたグループを含む新しい声を取り入れ、**能力開発**に注力しています。**COVID-19** パンデミック中もバーチャルフォーラムに迅速に適応した**適応性**と**透明性**も示されました。
- ガンビア IGF は、政府内の**コミュニケーション・デジタル経済省**に 2 つの窓口を設けることで、政府との良好な協力関係を築き、**UNDP** からの支援や議員との連携により、

サイバー犯罪に関する条約の批准にも貢献しました。

閉会の辞と主なメッセージ

- バイロン・ホランド（カナダ IGF）：グローバルなインターネット・ガバナンスは複雑で不完全だが、目覚ましい進歩を遂げてきた。**NRI** は、その中で素晴らしい仕事をしており、その存在は当初は想像もつかないほど大きなものになっている。
- シンティ・ムーロシ大臣（レソト IGF）：IGF の活動のリーチと認知度を高める必要がある。**マルチステークホルダー主義**が成功するためには、エリート的・抽象的な概念にとどまらず、人々の言語、コミュニティ、プラットフォームで彼らに寄り添う必要がある。そのためにはメディアとの連携も重要。
- デ克蘭・マクダーモット（アイルランド IGF）：マルチステークホルダー主義が成功するためには、それに**投資**する必要がある。多くの問題は最終的にリソースに帰結する。
- アグスティナ・オールドニェス（アルゼンチン IGF）：NRI は IGF の**心臓部**であり、ボトムアップで、他の地域の **NRI** と協力し、新しい人々やグループを包含し、その影響を考慮し、特に若者が平等な立場でセッションに参加できるようにすべきだ。
- ジョイス・チェン（APrIGF）：NRI はマルチステークホルダー・モデルが実際にどのように実践されているかを**実証する特別な役割**を果たす。参加者は自身の「**居場所を主張**」し、議論の場に積極的に加わるべきだ。
- サライ・ファレウボル・テヴィタ（太平洋 IGF）：小島嶼開発途上国(SIDS)はしばしばグローバルな意思決定プロセスで**疎外**されるが、マルチステークホルダー・モデルは**市民社会、学術界、民間セクター、技術コミュニティ**を招集し、デジタル規範や政策を形成する上で**の代表性を高める機会**を提供する。
- アハメド・ファラジ（北アフリカ IGF/アラブ IGF）：マルチステークホルダー・モデルを強化し、地域レベルでの IGF の存在感を高める必要がある。**重複を減らし**、より多くの統合された事例を適用すべきである。

ブラジル IGF の事務局は、**NetMundial+10** のマルチステークホルダー原則の印刷版がブースで配布されていることを告知しました。このセッションは、参加者の活発な貢献に感謝し、閉会しました。